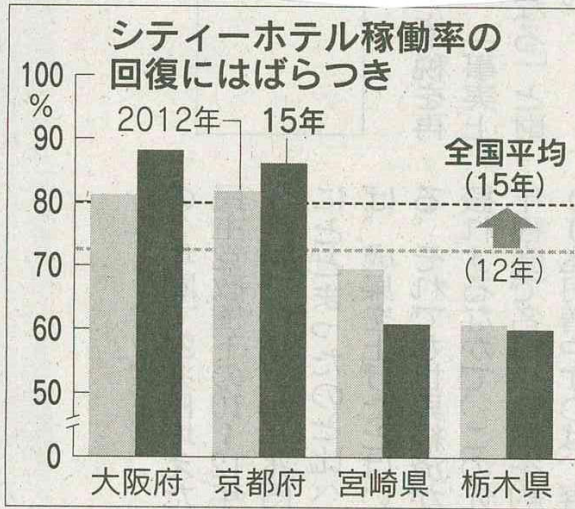


ホテル稼働率 昨年79%



全国平均、内閣府まとめ 訪日客が押し上げ

訪日外国人の増加がホテルの客室稼働率を押し上げている。内閣府がまとめた「地域の経済」に

よると、都市部にあるシティーホテルの2015年の稼働率は全国平均で79・9%となり、12年から7・4%上昇した。大都市圏が上昇する一方、宮崎県など一部の県は低下した。

稼働率が最も高かったのは大阪府(88・1%)だった。京都府(86・2%)、愛知県(84・0%)、東京都(83・8%)の順だった。12年からのプラ

ス幅でみると、沖縄県が20%上昇の81%になった。群馬県、青森県、島根県、佐賀県も10%台後半の伸びだった。

震災の復興需要で稼働率が下がった岩手、宮城、福島は被災3県を除くと、宮崎県、大分県、栃木県の3県は稼働率が12年と比べると低下した。

内閣府は「訪日客需要の発生に地域差が出ており、地域経済に与える影響も大きくなっている」と分析している。